



# 消防 鹿角

鹿角広域行政組合消防本部管内

出動件数

平成16年1月～平成16年9月

総出動件数 1,375件

火災等 54件

救急 1,070件

救助 75件

風雪水害 28件

遭難捜索 15件

その他 135件

1ヶ月の平均出動件数 152件

第17号 平成16年 秋季号

編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部

<全国統一標語>

## 「火を消した？ いつも心に きいてみて」



写真上：平成16年度ふれあい広場でのレスキュー体験（9月26日撮影）

写真下：ふれあい広場のオープニングセレモニーで見事な演技を披露してくれたさくら保育園のちびっ子たち

## ～ 蟹沢自治会（尾去沢） 自主防災訓練実施 ～

住民一人一人が主役となって地域の防災活動を自主的に行う「**自主防災組織**」を平成16年4月に発足した蟹沢自治会が9月12日に12名参加の大規模な防災訓練を実施しました。発起から現在に至るまでの苦労や感想を自治会長や自治会員に伺いました。

昨年、自主防災組織指導者研修会に参加して、自分の考えていた防災は「あまりにも甘い」と思いました。自主防災組織の必要性を自治会に理解して頂き、第1回目の防災訓練を行いました。その後、防災組織を結成し、9月12日に発足後初の訓練を行い、自治会住民が「自主防災は自分たちを守る」という認識を深め、あらためて「自主防災」の必要性を理解して、今後自治会全体で訓練に取り組みたい。  
(藤原自治会長)



『情報収集訓練』



『炊き出し訓練』

平成13年、鹿角市総務課から自主防災組織の協力依頼を受けましたが、私自身「自主防災を急いで作る必要があるか」という、暗中模索の中でのスタートとなり、自治会に理解して頂くまでに2年の月日が掛かりました。今回、訓練を実施した事により、自主防災は「自治会の組織がしっかりしていれば必要がない」という考えから「自主組織を結成してこそ、自治会がしっかりしている」ということを教えていただきました。  
(藤原副会長)

がれきなどの下敷きの負傷者に苦痛を与えないことはもちろんのこと、元気付けの声を掛け、チームプレー、手際よさが重要と感じました。  
(高田清)

自治会組織の連携の大切さ、適切な救命について改めて認識しました。今回学んだことを地域に広めていきたい。  
(斎藤敦子)

本部からの指令により炊き出しを開始し、煙で目が痛くなり涙を拭きながらの作業でした。打ち合わせ不足もありましたが、班全員が心をひとつにして頑張ることができました。  
(戸澤久美子)

情報は、事実の正確な把握と集約、伝達が最も留意すべきであると意識して訓練に参加しました。ライフライン切断時でも考え、恒常的な活動と防災に対する共通理解を深めていく必要性を再認識させられた。  
(川又一彦)



『応急手当訓練』

## 防災士になろう

いつどこで大規模災害が発生してもおかしくありません。しかし「備え」があれば被害を大幅に減らすことができます。避難や救助・救命、避難所の世話に当たるなど、公的な組織やボランティアと協働して活躍するのが「**防災士**」です。社会の自助・互助ネットワークのなかで、防災士は「リーダー」となり、防災の知識・技術を効果的に発揮します。防災士になるには年齢・性別・国籍・経験などの条件は一切なく、各地で開催される日本防災士機構の認証機関による研修を受け、試験に合格するとあなたの防災士としての活躍が始まります。

詳しくは消防本部にお問い合わせください。

鹿角市の自主防災組織は、蟹沢自治会と大欠自治会が新たに加わり、「**16組織・1,346世帯**」になりました。しかし、組織結成率鹿角市人口のわずか10.1%で、大館市(90.1%)と比べると少ない状態です。

あなたの自治会でも結成して、災害に強い地域を作りあげましょう。

### 【問い合わせ先】

鹿角市役所総務課  
小坂町役場総務課・消防本部



11月7日の早朝6時30分から消防団による火災想定訓練が行われます。場所は湯瀬地区・小坂町（永楽町）です。

また、訓練終了後に消防車がサイレンを鳴らしながら各地域を防火パレードします。



『週間中の主な行事』

住民防火運動（7日 9時30分～）

消火器の取扱指導・消火訓練・防火についての話し合いをします。場所は鶴田自治会（自治会館）・高田自治会（自治会館）・永楽町自治会（自治会館）です。

サイレン吹鳴（7日～13日）

火災予防運動中は、朝と夕方の7時にサイレンまたは警鐘が鳴ります。

消防Q & A

消防への通報はなぜ「119番」  
なんだろう？



大正15年から火災通報の電話番号サービスが始まりました。このときの番号は「112番」でした。しかし、一刻を争うことから慌てて別の番号にかけてしまうことが多かったため、昭和2年10月1日から末尾に「9」を使い「119番」になりました。

なお、アメリカでは「911番」、イギリスでは「999番」で、日本と似た番号が使われています。



全国消防救助大会  
で入賞

「ロープブリッジ渡過の部」に石川洋副士長が出場しました。この大会は、全国各地の大会を勝ち抜いた920人のスペシャリスト達による大会です。



ひと口メモ 蜂に刺されたら

日本ではハチ毒により毎年三十人前後の人が死亡しています。原因は刺された時にハチ毒が体内に入って起こるアレルギー反応（アナフィラキシーショック）です。

症状は次のとおりです。

- |       |    |
|-------|----|
| 強い痛み  | 発赤 |
| じんましん | 嘔吐 |
| 吐き気   | 腫れ |
| 呼吸困難  |    |



応急手当

- ・ 近くに巣がある可能性があるため、その場から離れる。
- ・ 刺された部位のまわりを強くつまみ、毒をしぼり出す。
- ・ 流水で傷口を洗い、傷口を冷やす。
- ・ ステロイド軟膏があれば塗る。
- ・ すぐに病院に行くか、119番通報で救急車を呼んでください。

## 消防機器の紹介

### 【 空気呼吸器 】

火災などの災害で一酸化炭素や有毒ガスが発生し、呼吸が出来ない場所に消防隊員が進入するための重要な装備品です。

重量は約11キログラムで、背負ったボンベの中に圧縮した空気が入っています。呼吸量に個人差はありますが、10～15分程度の災害現場活動ができます。



## 秋田県消防操法大会 2 連覇

9月7日、第41回秋田県消防操法大会が、岩城町の秋田県消防学校で開催されました。鹿角支部代表として、ポンプ車操法の部に2年連続で小坂町第4分団万谷班が出場。小型ポンプ操法の部には小坂町第4分団上川原班が初出場しました。

万谷班は昨年優勝というプレッシャーを跳ね除けての優勝（2連覇）、総合の部では7支部中2位に入る大活躍でした。



# 消防通信 龍吐水

## 鹿角市・小坂町消防団員募集

郷土の財産を自らの手で守る地域防災のリーダーである消防団員としてあなたも活躍してみませんか。

入団資格は鹿角市・小坂町の区域内に居住している、18歳以上の身体強健な方。

活動内容は災害への出動・各種訓練・消防団行事などが主な活動です。

問い合わせ先は消防本部総務課（23-5601）、または小坂町役場町民課（29-2400）まで。



## 消防の職場を体験しました

8月25日から27日の3日間、花輪高等学校生徒7名が就業体験（インターシップ）を行い、将来の消防士を目指し、汗を流して訓練に励みました。

また、鹿角市内の各中学校生徒が消防署の職場体験学習を行い、全員声を揃えて将来は消防士になることを誓いました。

（写真は花輪高等学校生徒の訓練風景）



連絡・問い合わせ先

ホームページアドレス

消防本部・消防署 電話 23-5601

八幡平分駐所 電話 34-2229

十和田分署 電話 35-2006

小坂分署 電話 29-2119

<http://www.ink.or.jp/~fdkazuno/> - みなさんからのご意見・投稿をお待ちしています。 -